



## “こうし” とともに

子供の成長に合わせた木造住宅を提案する。

“格子”の開閉と重なりによって、プランを自由に変えることができ、同時に住宅における“公私”が前後する。

やがて鉛色に変わるスギの木目の格子や縁側。子供たちが走り回り、親たちがが会話を楽しみ、家族が集う。

京町家に学ぶ、ちょっと新しい豊かな暮らし

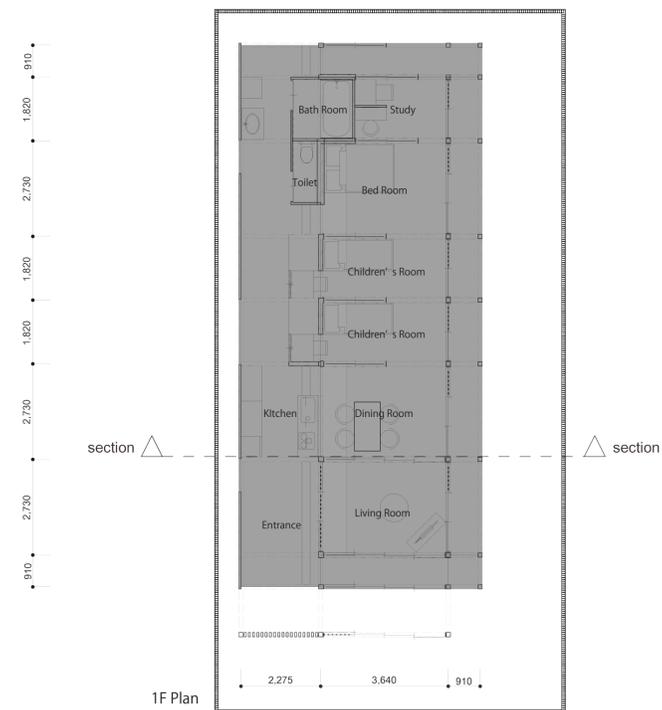
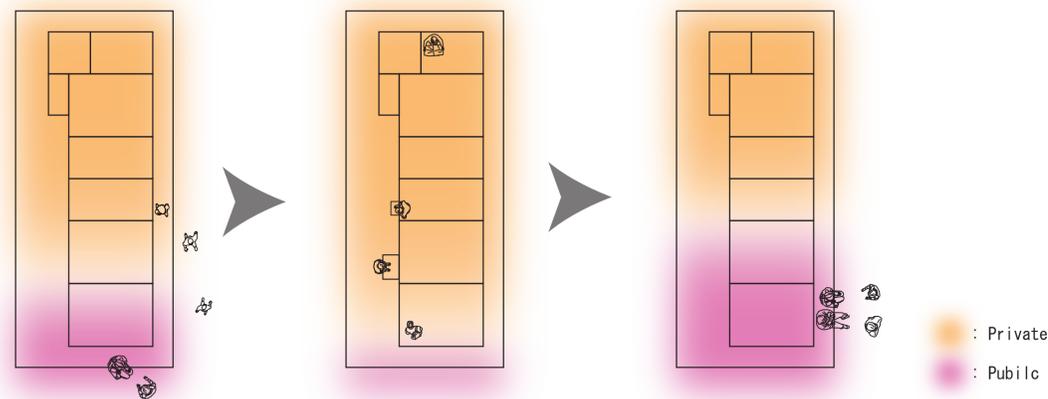


Diagram 1



①幼少期

リビングや縁側には親たちが集い、会話を楽しみ、子供たちは庭や縁側、家の前を走り回る。

②青年期

家族にとって大切なこの時期は、プライベートを重視したプランに。そのためパブリックは今までより少し後退することになる。

③壮年期

リビングや食卓、縁側には、地域の人々が集い、ゆったりとした時間を、鉛色になった空間で過ごす。

Diagram 2

